



あけましておめでとうございます。お正月はどのように過ごされたでしょうか？「おじいちゃんおばあちゃんとおったよ。」「お参りにいってすごした人だ。」と子どもたちが教えてくれました。イソクルエソサも出ていて年末年始でかかってしまった人もいます。大変なお正月を過ごされた方もいらっしゃると思います。今年は、子どもよりの大人の方が流行しているようですので、休息や食事などしっかりとって自己免疫を高めていく事が大事ですね。今年もよろしく願っています。

新しい年に願う事

今年も、何事もなく平穏な一年になりますように願っております。



一年前に、能登の震災があったのだと思うと時の経過の速さを感じます。お知り合いやご家族関係の方で被災された方もいらっしゃると思います。少しでも早い復興を願いつつも、日本はどこでも災害の起こる可能性がある。ある国ですの私たちも日頃からの対策を強化していきたいと思えます。先月、矢向あけほの保育園の10周年記念式典がありました。鶴見あけほの会の法人も20周年を迎えます。振り返ると保育という世界も大きく変化してきました。保育園が足りないという時代から、保育園の定員に空きが出て、その為、保育園経営が難しく閉園するなど少子化という事をひしひしと感じます。保育の在り方も、大きく変化しています。SDGsやジェンダーなど世の中の価値観が変わっていく中で、保育士そのものがその時代の価値観で過ごしてきていないので、そのつど学びながら、子どもたちの人権が守られるよう力を尽くしていきたいと思えます。

令和5年に《こども大綱》というのが、閣議決定されています。2023年に当時の18歳～29歳までの調査で二人に一人が死にたいと思った事があるとの調査結果がでました。こども大綱は、子どもが生きやすい社会を実現するための施策を考える上で大元となる方針を定めたものです。この先そのような思いにとらわれないで成長してもらいたいと願っています。

0歳児の保育士の配置人数が改善されますが……

年末に、子ども家庭庁より来年度から1歳児に対する保育士の配置について、園児5人に対し保育士を1人配置に改善するための予算案が盛り込まれました。これが国会で通れば、半世紀ぶりの改善になります。昨年度は、4.5歳児が見直しされましたが、どちらか、保育士不足を理由に、配置されたところでお金がつくというような制度になっており自治体や園児入所人数によっては、格差が出てしまう恐れがあります。横浜市は、独自で1歳児に対して4対1としています。自治体の持ち出しが多かったので、その分、市の予算としては助かると思うのですが国から多く入ってくる分、今まで加配していた分の予算はどのように、振り分けられてしまうのか？横浜市の保育施策も気になるところです。

巳年にちなんで

救急車のマークはスターオブ・ライフといって蛇のマークです。世界中の救急医療のシンボルマークとなっています。ギリシヤ神話に登場する



医学の神がもっている杖だそうです。その神様は死者もよみがえらせる力があつたので、救急医療の精神と結びついたのでですね。